

令和7年度高知市水道事業会計補正予算

令和7年12月

令和7年度 高知市水道事業会計補正予算

(総 則)

第 1 条 令和7年度高知市水道事業会計の補正予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第 2 条 令和7年度高知市水道事業会計予算(以下「予算」という。)第2条に定めた業務の予定量を次のとおり補正する。

(1) 主な建設改良事業

(事業名)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
送配水施設整備事業	33,982 千円	60,000 千円	93,982 千円
管渠増補改良事業	1,382,917 千円	630,000 千円	2,012,917 千円

(資本的収入及び支出)

第 3 条 予算第4条本文括弧書中資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額「4,157,500千円」を「4,462,246千円」に、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額「230,320千円」を「293,047千円」に、過年度分損益勘定留保資金「3,927,180千円」を「3,392,451千円、減債積立金776,748千円」にそれぞれ改める。また、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

収 入

(科目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
第 1 款 資本的収入	634,200 千円	385,254 千円	1,019,454 千円
第 1 項 企業債	409,300 千円	88,100 千円	497,400 千円
第 2 項 出資金	44,338 千円	84,200 千円	128,538 千円
第 3 項 補助金	72,560 千円	212,954 千円	285,514 千円

支 出		(科 目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
第 1 款	資 本 的 支 出		4,791,700 千円	690,000 千円	5,481,700 千円
第 1 項	建 設 工 事 費		33,982 千円	60,000 千円	93,982 千円
第 2 項	増 補 改 良 工 事 費		2,685,746 千円	630,000 千円	3,315,746 千円

(企 業 債)

第 4 条 予算第7条に定めた起債の限度額を次のとおり補正する。

起債の目的	補 正 前				補 正 後			
	限 度 額	起債の方法	利 率	償 還 の 方 法	限 度 額	起債の方法	利 率	償 還 の 方 法
安全対策事業	千円 409,300	普通貸借又は証券発行	3.0%以内 (ただし、利率見直し 方式で借り入れる資金 について、利率の 見直しを行った後 においては、当該見直 し後の利率)	政府資金その他借入先の融資条件による。ただし、財政の都合により、据置期間及び償還期限を短縮し、若しくは繰上償還又は低利に借換することができる。	千円 497,400	変 更 な し	変 更 な し	変 更 な し

令和7年12月4日 提出

高知市長 桑 名 龍 吾

令和7年度 高知市水道事業会計予算実施修正計画

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位 千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 資 本 的 収 入			634,200	385,254	1,019,454	資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額4,462,246千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額293,047千円、過年度分損益勘定留保資金3,392,451千円、減債積立金776,748千円で補てんするものとする。
	1 企 業 債		409,300	88,100	497,400	
		1 企 業 債	409,300	88,100	497,400	
	2 出 資 金		44,338	84,200	128,538	
		1 出 資 金	44,338	84,200	128,538	
	3 補 助 金		72,560	212,954	285,514	
		2 国 庫 補 助 金	67,333	212,954	280,287	

支 出

(単位 千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 資 本 的 支 出			4,791,700	690,000	5,481,700	
	1 建設工事費		33,982	60,000	93,982	
		1 送配水施設整備事業費	33,982	60,000	93,982	
	2 増補改良 工 事 費		2,685,746	630,000	3,315,746	
		1 管渠増補改良費	1,382,917	630,000	2,012,917	

令和7年度高知市水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位 千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	269,347
減価償却費	2,651,699
長期前受金戻入額	△ 315,357
受取利息及び配当金	△ 12,028
支払利息及び企業債取扱諸費	330,575
固定資産除却費	30,000
固定資産売却損益 (△は益)	△ 57,610
未収金の増減額 (△は増加)	637,598
前払金の増減額 (△は増加)	215,259
未払金の増減額 (△は減少)	△ 525,015
貯蔵品の増減額 (△は増加)	200
引当金の増減額 (△は減少)	85,263
小計	3,309,931
利息及び配当金の受取額	12,028
利息の支払額	△ 330,575

業務活動によるキャッシュ・フロー 2,991,384

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△ 4,861,633
有形固定資産の売却による収入	113,672
有価証券の取得による支出	△ 500,000
国庫補助金等による収入	668,538
補助金の返還	△ 305

投資活動によるキャッシュ・フロー △ 4,579,728

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,210,300
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,501,459
他会計からの出資による収入	128,538

財務活動によるキャッシュ・フロー △ 162,621

資金増加額 (又は減少額) △ 1,750,965

資金期首残高 10,300,627

資金期末残高 8,549,662

高知市水道事業予定貸借対照表

(単位 千円)

科 目	令和7年度末予定額	
(資産の部)		
1 固定資産		
(1) 有形固定資産		
イ 土地		4,437,759
ロ 立木		24,985
ハ 建物	5,831,690	
減価償却累計額	△ 2,930,638	2,901,052
ニ 建物附属設備	1,048,391	
減価償却累計額	△ 397,555	650,836
ホ 構築物	118,462,507	
減価償却累計額	△ 54,853,461	63,609,046
ヘ 機械及び装置	16,264,637	
減価償却累計額	△ 11,483,889	4,780,748
ト 量水器	689,896	
減価償却累計額	△ 341,814	348,082
チ 車両及び運搬具	16,853	
減価償却累計額	△ 64,747	△ 47,894
リ 船舶	1,155	
減価償却累計額	△ 1,097	58
ヌ 器具及び備品	457,126	
減価償却累計額	△ 285,084	172,042
ル 建設仮勘定		1,228,549
有形固定資産合計		78,105,263

(2) 無形固定資産			
イ デ ム 使 用 権	1,655,905		
ロ 電 話 加 入 権	6,105		
無形固定資産合計		1,662,010	
(3) 投資その他の資産			
イ 投資有価証券	2,489,006		
投資その他の資産合計		2,489,006	
固定資産合計			82,256,279
2 流動資産			
(1) 現金及び預金		8,549,662	
(2) 未収金	591,400		
貸倒引当金	△ 2,709	588,691	
(3) 貯蔵品		153,897	
(4) その他流動資産		339	
流動資産合計			9,292,589
資産合計			91,548,868
(負債の部)			
3 固定負債			
(1) 企業債		24,198,269	
(2) 引当金		1,098,823	
固定負債合計			25,297,092
4 流動負債			
(1) 企業債		1,465,989	
(2) 未払金		448,287	
(3) 引当金		400,294	
(4) 預り金		28,695	
流動負債合計			2,343,265

5 繰延収益			
(1) 長期前受金	16,353,740		
長期前受金収益化累計額	<u>△ 7,349,701</u>	9,004,039	
(2) 建設仮勘定長期前受金		29,437	
繰延収益合計			<u>9,033,476</u>
負債合計			<u>36,673,833</u>
(資本の部)			
6 資本金			52,142,164
7 剰余金			
(1) 資本金剰余金			
イ 補助金	569,371		
ロ 工事負担金	498,237		
ハ 受贈財産評価額	<u>619,168</u>		
資本剰余金合計		1,686,776	
(2) 利益剰余金			
イ 当年度未処分利益剰余金	<u>1,046,095</u>		
利益剰余金合計		<u>1,046,095</u>	
剰余金合計			<u>2,732,871</u>
資本合計			<u>54,875,035</u>
負債資本合計			<u>91,548,868</u>

注 記 表

I. 重要な会計方針

1 資産の評価基準及び評価方法

- (1) 満期保有目的の債券 償却原価法
- (2) 貯蔵品 先入先出法による原価法

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

- ・ 減価償却の方法 定額法(ただし、量水器については取替法による。)

・ 主な耐用年数

建物	8～50年	建物附属設備	8～50年
構築物	10～80年	機械及び装置	6～50年
量水器	8年	車両及び運搬具	3～6年
船舶	5年	器具及び備品	4～15年

(2) 無形固定資産

- ・ 減価償却の方法 定額法

・ 主な耐用年数

ダム使用权	55年
-------	-----

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末水道事業会計在籍職員に係る退職手当に相当する額を簡便法により計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 修繕引当金

平成25年度末までに計上されていた修繕引当金を計上している。

(5) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等により回収不能見込額を計上している。

4 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. 予定キャッシュ・フロー計算書等に関する注記

1 重要な非資金取引

該当なし。

III. 予定貸借対照表等に関する注記

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債(1年以内に償還予定のものも含む。)のうち、他会計が負担すると見込まれる額は128,798千円である。

IV. セグメント情報の開示

高知市水道事業のセグメントは、単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略する。

V. 減損損失

1 グループニングの方法

高知市水道事業会計において使用している固定資産については、事業全体でキャッシュ・フローを生成していることから、1つの資産グループとしている。

2 減損の兆候について

当年度において、以下の資産(遊休資産)について減損の兆候を認識した。

用途	資産の種類	所在地
水道事業	土地	高知市加賀野井二丁目1-224 外40筆

なお、水道事業会計における「重要性の原則」の判断基準等により、減損損失としては認識していない。

VI. リース契約により使用する固定資産

1 リース取引の処理方法

所有権移転ファイナンス・リース取引については、該当なし。

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、中小規模の地方公営企業の特例措置により、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

2 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る未経過リース料相当額

1 年内	3,816千円
<u>1 年超</u>	<u>3,498千円</u>
計	7,314千円

3 オペレーティング・リース取引に係る未経過リース料相当額

1 年内	574千円
<u>1 年超</u>	<u>0千円</u>
計	574千円